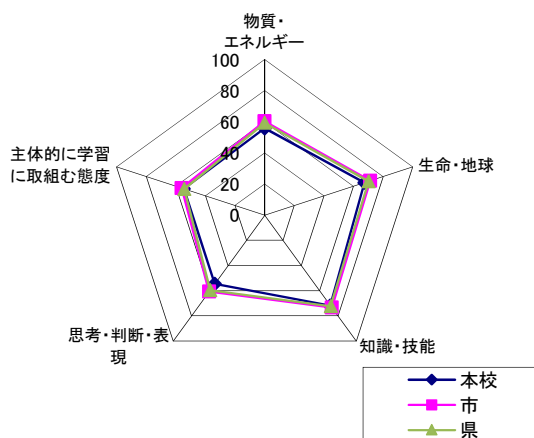


宇都宮市立宝木小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	55.8	60.2	59.2
	生命・地球	67.4	71.3	70.3
観点	知識・技能	71.8	73.4	72.3
	思考・判断・表現	54.5	60.6	59.6
	主体的に学習に取り組む態度	54.6	55.9	54.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、県の平均と比べてやや低い。</p> <p>○「じしゃくのせいしつ」についての問題では、磁石につく物とつかない物についての設問に対する正答率は63.9%で、県の平均を9.7ポイント上回っている。</p> <p>●磁石が物を引き付ける力は、磁石と物の距離によって変わることを推測することができるかを問う問題の正答率は37.1%で、県の平均を15.1ポイント下回っている。</p>	<p>・学んだことをもとに結果を推測する問題の正答率が低いことから、実験から分かることを正確に理解できていないことが考えられる。今回の実験ではどんなことが分かったのかを考察として各々に書かせることで、児童の理解度を把握していく。また、全体でも必ず考察を共有し、理解できていないところがないか自分で気付けるよう進めていく。</p> <p>・問題が進むにつれて無回答の割合が多いことから、最後まで解き終わらなかったことが考えられる。複数の問題を解く際には制限時間を設け、それぞれの問題にどの程度の時間をかけていくのかを決めてから取り組むよう進めていく。</p> <p>・記述や短答の問題の正答率が低く、無回答の割合が多い。授業の中でも実験のまとめを自分の言葉でまとめるよう促していく。また、答え方が分からない児童も多いと考えられることから、キーワードは何か、尋ねられていることは何かなどの視点を自分で見付けられるよう丁寧に指導していく。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、県の平均と比べてやや低い。</p> <p>○「身近なしぜんのかんさつ」についての問題では、虫めがねの正しい使い方についての設問に対する正答率は63.9%で、県の平均正答率を13ポイント上回っている。</p> <p>●「太陽と地面のようす」についての問題では、太陽の動きから、午後3時の影の位置を推測することについての設問に対する正答率は29.9%で、県の平均を11.8ポイント下回っている。</p>	